

事務事業評価シート(補助金事業)(平成26年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
42222	勤労者互助会補助金	産業振興課	商工振興係	飯澤 誠	赤羽 昇	
		一次評価年月日	平成 27 年 6 月 10 日	連絡先〔内線〕	2145	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		0704	労政事業	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	4章	活力ある産業とにぎわいのまちづくり	
		節	(コード選択)	2節	雇用環境の充実	
		項〔基本施策〕	(コード選択)	2項	勤労者福祉の充実	
		目〔主な施策〕	(コード選択)	2目	勤労者互助会活動への支援	
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他
	補助金の期間	<input type="checkbox"/>	単年度	<input checked="" type="checkbox"/>	継続 (開始)	S61 年度 ~ (終了予定) 年度
	補助金の性質	<input type="checkbox"/>	事業費補助	<input checked="" type="checkbox"/>	団体運営費補助	<input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()
補助金の交付基準	<input type="checkbox"/>	法令	<input type="checkbox"/>	条例規則	<input checked="" type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)	
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/>	予算補助	<input type="checkbox"/>	決算補助	<input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助	
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/>	町単独補助	<input type="checkbox"/>	国・県補助あり	(町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)	

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/>	一部事務組合等	<input type="checkbox"/>	公益法人	<input checked="" type="checkbox"/>	企業や団体	<input type="checkbox"/>	個人
--------------------------	---------	--------------------------	------	-------------------------------------	-------	--------------------------	----

(交付団体名 : 辰野町勤労者互助会(町内で加入している中小企業の従業員、事業主))

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

従業員が働きやすい職場にするために、単独では難しい福利厚生事業を互助会として会費により行う

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	共済給付事業(全労済の慶弔共済に団体で加入、結婚・入学祝、病氣見舞金等給付)
2	厚生事業(親睦旅行、町内施設入浴無料券の配布、ポーリング大会等)

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		25年度	26年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	共済給付事業	件	14	14	15	0.93	15
① 説明	共済給付事業件数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 過年度実績による見込数					
② 指標名	厚生事業	回	128	133	130	1.02	130
② 説明	町内入浴施設利用者数	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 過去年度実績による見込数					

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度									
事業費(円)		200,000			200,000			200,000			220,000									
補助率(町負担分)		100.0%			100.0%			100.0%			100.0%									
町交付額(一般財源)(円)		200,000			200,000			200,000			220,000									
財源内訳	特定財源																			
	国庫支出金																			
	県支出金																			
	地方債																			
	その他																			
一般財源		200,000			200,000			200,000			220,000									
人件費の概算												(千円)		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度見込み			
対前年比												%		1,053	1,054	1,054	1,064			
														/	100.2	99.9	101			
														年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費			
														/	/	/	/			
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	0.13	0.13	0.00	0.00	0.00	0.13	0.13	0.13	1,053	1,054	1,054	1,064
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

妥当性	1. 町民のニーズはありますか(補助金の交付を受ける活動が、町民に求められていますか)	B	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	規模の小さい企業の従業員の福利厚生事業が安価な掛金で行える。(1ヶ月1人300円内、共済掛金191円含む)
	2. 社会情勢上必要ですか	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	独自で行うことが難しい企業の従業員のために必要な事業
	3. この補助金は広く町民のためになっていますか	B	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	町内の加入している中小企業の勤労者が対象
	4. この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	勤労者や事業主が安心して働き続けられる環境づくりのために必要
有効性	5. 事業の効果が具体的に把握できていますか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	成果の数値は、決算書・事業報告書で示すことができる
	6. 補助金を交付することで期待された効果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	アンケートを実施し、会員の希望による事業を行い喜ばれている。また、事業所内で親睦のための事業を実施した
公平性	7. 対象者すべてに補助金が交付されていますか	B	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	互助会加入者には交付されている
その他	8. これまでに見直しの実績はありますか	B	A 補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	今期は行わなかったが、来年度は増額
	9. 補助金等の交付により、町にどのようなメリットがありますか		中小企業の労働者の福利厚生を図ることによって雇用の安定が図られ町の発展につながる		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	27年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
会員の勧誘を実施し、会員数の増になったが、今後もPRを行い、会員数を増やす。	[反映内容] 辰野町勤労者互助会補助金				

(7) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
会員の増減により補助金額も増減する。事業については多くの会員が参加できるものを実施する	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

a 上記 a ~ c を選択